

# 桑葉の地域別、品種別、部位別、採取時期別DNJ含量

福島県農業試験場梁川支場  
平成17年度試験成績概要

- 1 部門名 蚕糸一栽桑一収穫・乾燥・調整  
分類コード 09-01-24013400
- 2 担当者 野木照修・三田村敏正
- 3 要 旨

桑葉には1-デオキシノジリマイシン(DNJ)と呼ばれる血糖値改善機能性物質が含まれている。DNJを高含有する桑葉の条件を明らかにするため、DNJ含量を地域別、品種別、部位別、採取時期別に比較した結果、以下の知見を得た。

(1) 梁川支場で栽培された桑樹を比較すると、品種間に大きな違いが見られ、特に「鶴田」は県内で多く栽培されている「改良鼠返」、「一ノ瀬」に比較して2.5倍以上のDNJを高含有していた。

(2) DNJはいずれの採取時期も、枝条の先端に近い葉に多く含まれていた。

(3) DNJ含量の季節変動は、4品種とも8月が最も高く6月の約3倍のDNJを高含有し、次いで7月、9月、6月の順であった。

(4) 「改良鼠返」のDNJ含量は0.05%前後で地域による変動はさほど大きくなかったが、「はやてさかり」は飯野町と伊達市梁川町(梁川支場)で「改良鼠返」の約2倍の値を示した。

(5) 以上の結果より、DNJ含量は品種、部位、時期により大きな違いがあり、「鶴田」等DNJ高含有品種の選定、上位葉の採取、夏の期間(8月)の採取により、DNJ高含有素材が得られる。

- 4 その他の資料など  
なし